

Kochi Bach Kantaten Verein 2020

高知バッハカンタータフェライン 第23回演奏会

◆出演者

指揮・バス：小原浄二
ソプラノ：辻本文 リイム知由紀
アルト：小原伸枝
カウンターテノール：上杉清仁
テノール：畑儀文
バス：小原一穂
ヴァイオリンⅠ：長岡聡季 宮崎桃子
ヴァイオリンⅡ：三輪真樹 大谷美佐子
ヴィオラ：吉田篤
チェロ：西澤央子
ヴィオローネ：櫻井茂
ホルンⅠ：下田太郎
ホルンⅡ：塚田聡
オーボエⅠ：尾崎温子
オーボエⅡ：森綾香
リコーダー：浅井愛
オルガン：劔持清之
合唱：高知バッハカンタータフェライン

◆プログラム

J.S. バッハ作曲
カンタータ第182番 BWV182「天の王よ、汝を迎えまつらん」
カンタータ第84番 BWV84「われはわが幸に満ち足れり」
ミサ曲へ長調 BWV233

日時：2020年 3月8日(日)

午後1:30開場 2:00開演

会場：上野学園 石橋メモリアルホール

(台東区東上野4丁目24-12、上野駅 JR入谷口から徒歩6分)

※ホールには駐輪場、駐車場はありません

入場料：一般 3,000円(当日3,500円)
学生 2,000円(当日2,500円)

※未就学児の入場は御遠慮下さい

◇主催：高知バッハカンタータフェライン
◇後援：高知県・高知県教育委員会・(公財)高知県文化財団・高知新聞社
◇チケット前売り：チケットぴあ(Pコード：161691、電話：0570-02-9999)
◇お問い合わせ：TEL 088-840-6864 e-mail:k-verein@hotmail.co.jp (高知バッハカンタータフェライン)

<http://pia.jp/>

チケット
ぴあ

0570-02-9999

高知バッハカンタータフェライン【合唱】



1997年4月高知大学助教授(当時)小原浄二氏の呼びかけにより、J.S. バッハを中心とするバロック及び古典の音楽作品を研究・演奏する団体として発足。メンバーは合唱経験も年齢も多種多様だが、小原氏の指導のもと心を一つに練習に励んでいる。

1998年3月の第1回演奏会以来、毎年春に演奏会を開催。バッハのカンタータ多数・ヨハネ受難曲・モテット、モンテヴェルディやシュツツ、ヘンデル等の作品を取り上げ、“土佐の地にもバッハを”の想いのもとに意欲的な活動を行う。

2002年にはドイツから初来日したライプツィヒ・バロック・オーケストラと共演し、コンサートマスタ

ーより「光を放つような素晴らしい合唱」と高い評価を得る。また、その縁から2004年夏にはドイツ演奏旅行を果たし、アイゼナハ・アイスレーベン・ライプツィヒなどバッハゆかりの地での演奏会に出演、その暖かい音色と確かな表現力は現地でも絶賛された。

更に2008年(第2回)、2012年(第3回)、2016年(第4回)、ドイツ演奏旅行を重ねる。演奏会はいずれも好評を博し、現地聴衆より「これまで聴いてきたバッハの中で、最も心に響くものだった」「大変内容の濃い演奏であり、深く感動した」「ドイツ人でも難しいテキストの発音が完璧だった」などの賞賛を得た。

近年は、バッハの作品をドイツだけでなく地元の教会でも響かせたいという想いから、高知市内のカトリック中島町教会、日本福音宣教会高知西福音教会、清和女子中等高等学校チャペル、日本基督教団高知教会、日本基督教団土佐教会などでコンサートを行うなど、活動は広がりを見せている。

小原浄二【指揮・バス】



岩手大学教育学部卒業後、東京芸術大学音楽学部音楽科に進学し首席で卒業。松田シ賞受賞。同大学院修士課程独唱科修了。音楽を、佐々木正利、伊藤亘行、多田羅迪夫の各氏に師事。ドイツリート、オラトリオを中心に研鑽を積み、東京芸大時代には小林道夫氏のもとバッハカンタータクラブに所属し、研究・演奏を行う。その後、国内外の演奏会にソリストとして出演。1991年にはウィーン楽友協会ホールにおいて、ブラームスの「ドイツレクイエム」また1993年にはシュトゥットガルト、ケルン、ドレスデン、ワイマール等において、フォルトナー「ヘルダーリンの詩による歌曲」を歌い好評を博す。1992～1994年には、鈴木雅明氏が音楽監督を務めるバッハコレギウムジャパンのコーラスマスター及びソリストとして活躍。1994年～1995年ドイツ留学し、H. クレッチマル氏に師事。留学中も積極的に演奏活動を行い、特に、ミュンヘン・ヘラクレスホールにおけるニュルンベルク交響楽団定期公演、J. ツィルヒ指揮、ハイドン「天地創造」バスソロなどは、現地新聞紙上において絶賛される。帰国後も全国各地に招かれソロ活

動を行い、宗教音楽の世界的名指揮者である、H.J. ロッチュ、G.Ch. ビラー等との共演や、新日本フィルハーモニー交響楽団定期公演における、G. ボッセとの共演のほか、関西フィル、オーケストラ・アンサンブル金沢、紀尾井シフォニエッタ東京、スウェーデン放送合唱団との共演などで高い評価を得ている。1997年、高知バッハカンタータフェラインの創設に携わり、以降指揮者として指導にあたっている。高知大学教授。